

花きの県別生産出荷概況(8月見通し)

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		8月のピーク(%)			主産地
				期間		出荷総数 千本	京浜地域向 千本	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)						
コギク	茨城	施設	常陸サマー ビー, 精こまき ほか	5月~11月 (8月~9 月)	121	3,300	2,100	60	25	15	笠間, 石岡 市, 龍ヶ崎市, 筑西市ほか
	沖縄	露地	精やさか(黄) 精かなか(白) 精しらいと(白) 精あかり(赤)	11月~5月	1 120%	780 120%	80 120%	90	10		読谷村 うるま市
トルコギキョウ	北海道	促成~	SP:チェリーテツシノ SP:ピンクピジョン SP:ピジョン ダイ:作付け無し	6~12月 (7~10月)	2,790 95%	22,463 97%		50%	30%	20%	七飯町 JA新はこだて
	青森		ホクトセイ ボヤージュ ロジーナ	6月~11月 (9月)	5.3 100%	310 91%	(%)	40	30	30	稲垣 後潟 田舎館
	山形	加温 無加温 シェード・加温	ボヤージュシ リーズ ロジーナシ リーズ セレブシ リーズ 他白八重 他ピンク八重 他八重 一重 他	6月~11月 (7月~10月)	 98%	1,000 96.0%	790 96.0%	40	30	30	JA新庄市 JA新庄もがみ JA山形もがみ JA鶴岡 JA庄内たがわ JA庄内みどり JA山形市 ほか
	福島	施設	ボヤージュ ホワイト クリスピン ク レイナ ホワイト 他	5~11月 (8-9月)	11 100%	400 96%	350 95%	40	30	30	(JA会津よつば) あいづ 会津いいで
	茨城	施設	レイナ, ロ ジーナ ほか	周年	7	30	16	40	30	30	常陸大宮市, 水戸市, 石岡 市他
	群馬	施設 (季咲き)	ロジーナ ボヤージュ バルカン ほか	周年 (6~11月)	6.2 (100)	215 (100)	202 (100)	20	30	50	昭和村 沼田市 富岡市
	千葉	施設		4~8月 (6月) 10~12月 (11月)	7.2 100%	550 120%	410 120%	50	40	10	館山市、鴨川 市、南房総市 (丸山・千倉)

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		8月のピーク(%)			主産地
				期間		出荷総数 千本	京浜地域向 千本	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	(前年比)	(前年比)				
バラ	茨城	施設	アマダ, アバ ランチェ, サム ライほか	周年	8	270	190	35	30	35	古河市, 石岡 市他
	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.8 (100)	968 (107)	727 (109)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村
	静岡	施設	サムライ オール4ラブ シンディ ベイブ	周年 10-12 3-5月	43 97%	700 95%	500 95%	30	30	40	JALみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢咲
	愛知	周年	サムライ08 アバランチェ系 ファンシーローラ シンディ その他	4-3月 () (%)	2,250 98%	1,200 98%	35	30	35	愛知みなみ ひまわり 西三河	
	大分	施設	Mシリーズ Jシリーズ 他	周年 () (%)	6.5 (100%)	(100%)	(100%)	30	40	30	山香 九重町飯田 玖珠九重
アルストロメリア	北海道	周年	オルガ レモン ホイトニー イレーネ	周年 (5・10月)	1,706 98%	4,788 91%		40%	35%	25%	新篠津村 JA新しのつ
スターチス	北海	(シヌアータ)		5~11月 (7~9月)	3,794 97%	16,535 97%		45%	45%	10%	深川市 北空知広域連
		促成~	ネオアラビアン フレンチバイオレット ピンクキッス ネオブルー								
スターチス	北海	(シネンシス)		5~11月 (7~9月)	1,989 98%	8,624 103%		45%	45%	10%	深川市 北空知広域連
		促成~	キノブランⅡ キノブラン キノラパン チャームブルー								

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
コギク	茨城	・一部の圃場で、若干のアザミウマ等がみられる。 ・全体的に前進傾向。	<p>現状 7月上旬は、東京盆が始まるまで、かなり厳しい販売。中旬以降は、色バランスが安定しない入荷、数量の急激な減少により、不安定な引き合いとなる。特に白小菊が減少。また、6月の冷え込みと雨不足の影響により、東北地方からの出荷が例年より遅れているが、7月下旬から数量纏まってくる。</p> <p>見通し 大田花き 8月盆が始まる前は、販売は落ち着いたものとなる。8月第一週から引き合いが強まり、第二週目は更なる需要が見込まれる。盆終了後は販売が落ち着く見込み。</p> <p>FAJ 東北産地(秋田・岩手・山形)出揃い、まとまった入荷。8月盆に向けて活発な取引に。</p> <p>東日本第一花き 旧盆需要で動き有り。2L @70～</p>
	沖縄	8月の作付面積は少ないものの、生育は概ね順調に推移している。黄系、白系、赤系とも色バランスの良い出荷が見込まれる。	
トルコギキョウ	北海道	7月に入り、気温が上がり、出荷量が増えてきている。他産地の出荷量が少ないため、高単価で推移している。	<p>現状 西南暖地が完全に終了、千葉、茨城といった中間産地も季咲がピークとなり中旬以降は減少していく。長野、福島、岩手といった高冷地が徐々に増加し、7月盆明け以降増えていく見込み。相場は例年よりやや高めで推移した。</p> <p>見通し 大田花き 遅れていた分が出始め数量は増えてくる。上旬より数量増え始め、8月盆時期には長野、福島、岩手、山形と纏まってくる。千葉、茨城は減少。相場は例年並みになる。</p> <p>FAJ 盆重要に向けて各産地出荷数量増量予定。紫系中心に活発な動きとなる見込み。</p> <p>東日本第一花き 今後は東北産地、中心に入荷量が増えてくるが、需要が少ない為、弱保合。</p>
	青森	昨年は8月の高温から一斉開花となったことから、本年8月の出荷量は平年並みを見込んでいる。夜温が低い日が続いていたが、生育は順調。出荷ピークは9月を見込んでいる。	
	山形	○8月出荷の生育は、開花の早かった前年より1週間程遅いものの、ほぼ平年並である。 ○病害虫の発生がほとんどなく、品質は良好である。	
	福島	8月にかけて微増の見込み。前年のような生育前進は見られず、平年並みの生育状況。	
	茨城	・一部の圃場で、若干のアザミウマ等がみられる。 ・全体的に前進傾向。	
	群馬	中山間地の産地では、春先の低温の影響からやや生育が遅れていたが、7月中旬より数量がまとまり平年並の出荷量となる見込み。病害虫等の発生も特に見られない。	
	千葉	①遅れていたものが8月までずれ込み、中旬まで出荷が続く見込み。切り花品質は良好。 ②ポヤージュシリーズが中心。	

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
バラ	茨城	・平年並み。	<p>現状 上旬は入荷少なく、西南暖地の品質も劣化することなかった為、例年に比べ平均的に高い単価で推移した。中旬からは気温の上昇とともに入荷量が増加し、例年通りの単価で推移。日持ちの問題で買参人から懸念させれる事が多い。</p> <p>見通し 大田花き 西南暖地、土耕産地等の出荷が無くなり、入荷量は減少傾向。輸入品のエクアドル産、ケニア産等は8月の後半から入荷見込み。</p> <p>FAJ 引き続き山形・宮城など高冷地主体に。ほぼ平年並みの入荷を予定。</p> <p>東日本第一花き 引き続き高温につれバラ需要が減少。また入荷量も増えてくるため、やや厳しい販売が予想される。</p>
	群馬	7月に入り高温が続いているが、日中の細霧冷房や夜間冷房等の環境制御技術によりボリューム、品質は良好。このため、前年に比べ数量増加及び等階級の向上が見込まれる。	
	静岡	天候に恵まれ、階級発生やボリュームは例年より良かった。今後、気温も上がり下位階級中心の出荷となる。数量は減少傾向であるが、改植品種も出始めダラダラ出荷が続く見通し。	
	愛知	・8月全体の出荷量は前年をやや下回る見込み。盆前後に出荷休みを取る産地・生産者がいるため中旬は出荷量が少なくなる。 ・現状、下位階級(50、40cmクラス)の発生率が高い状況であるが、8月に入るとさらに割合が高くなる。8月後半は6割近くが下位階級となると思われる。	
	大分	・8月は中旬が多めの出荷。 ・本数は前年並みの見込みであるが、50cm以下の短い階級が多い見込み。	
アルストロメリア	北海道	新株の品種は初旬頃までである程度出荷量はあるが、その後はいったん少なくなる見通し。	<p>現状 愛知、長野は改植が進み出荷量は大きく減少。北海道は徐々に増加。業務関係の白系中心に逼迫した取引となる。</p> <p>見通し 大田花き 愛知、長野は大きく減少、北海道、東北方面が増加するが、業務需要もあり白系中心の取り引きとなる。</p> <p>FAJ 引き続き長野・山形などより入荷を予定。</p> <p>東日本第一花き 青森県・北海道の入荷。業務中心の動き。</p>
スターチス	北海道	物日(お盆)需要に向けて、1番花と2番花のピーク。青紫、赤紫系の品種を主体に出荷される予定です。	<p>現状 シヌアータは上、中旬に7月盆需要がありやや引き合い強まったが、下旬に向けては例年並みの販売が続いた。シネンシス系は大きな需要もなく厳しい販売が続いた。</p> <p>見通し 大田花き シヌアータは8月盆に向けて活発な取引が見込まれる。8月盆以降は引き合い落ち着くが数量も落ち着く。シネンシス系も8月盆向けに需要が高まる見込みだが、盆以降は需要が落ち着く。</p> <p>FAJ 8月盆に向けて出荷本格化。北海道主体の入荷変わらず。</p> <p>東日本第一花き 旧盆需要中心の動き。前進傾向。</p>
		物日(お盆)需要に向けて、各色ともにピークを迎えます。1番花と2番花のピーク。ホワイト系の品種が多めに出荷される予定です。	